

解 答

一 a 班 b 混雑 c 乗客

二 イ

三 愛する夫を亡くした悲しみを抱き続けていること。

四 仲間はずれにされる不安から、みんなに合わせておこうと思ったから。

五 オ

六 (1) ・意志が強く、自分が正しいと思ったことをかたくなに貫く人物。

・つらくてもがんばり通し、決して音を上げない人物。

・周囲の目や声にも動じない、精神的に大人びた人物。

(2) 表向きは平気な顔をしているが、内心は深く傷つき、灯子に助けを求める思い。

七 みんなに合わせるためにりんさんをのけ者にするのをやめ、自分の本心に従うという意味。

八 みんなから相手にされなくなるのをおそれて、自分の意志に従って行動する勇気が持てず、ためらっていたから。

九 自分自身のしっかりした意志に乏しく、まわりに流されてしまっている様子。

十 ア

十一 (1) がんばりやでかたくなな普段とちがい、肩の力が抜けて、素の自分をさらけ出している様子。

(2) 灯子は、泣きじゃくり、すがりついてくるりんさんと、りんさんを冷たくつきはなす自分とを、バスの窓に見た。そして、みんなに合わせてりんさんを避けていたことで、彼女をかなしませていることを痛感した灯子は、みんなに合わせるのをやめ、自分の意志で、りんさんとむきあおうとした結果、彼女もまた、灯子に対して素直な気持ちになったから。

十二 「鏡」は、真実を、特に、普段の表情から見えない本当の心をうつす役割を果たす。おばちゃんの鏡は、笑顔の陰の、夫を亡くした悲しみをうつした。そして、バスの窓は、普段の強さとは別の、みんなから相手にされず悲嘆するりんさんと、ともだちを装いながら、みんなに合わせて彼女をつきはなす灯子をうつし、灯子に、自分の心を見つめ直させた。